

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習時間数	6 時間
講習の名称	【選択】長崎県の特別支援教育における負の遺産と正の遺産	講習形態	講義 (WEB配信)
開 設 者	長崎ウエスレヤン大学(4月より鎮西学院大学へ校名変更)	定 員	25名
開 設 日/ 時 間	令和3年8月6日(金) / 9:25~17:00	会 場	動画配信が受信できる場所。 職場もしくは自宅など
履修認定対象職種	教諭、養護教諭	主な受講対象者	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校 教諭 養護教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員：平田勝政 (現代社会学部) / Eメールアドレス： <a href="mailto:hirata@weslevan.ac.jp">hirata@weslevan.ac.jp</a> /TEL：0957-26-8012 直通			
担当教員(分担担当者等)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい：風化が懸念される長崎原爆の記憶に焦点化して地域(長崎県)の特別支援教育の歴史的遺産を負と正(破壊と創造)の両面において学習し、遺産と教訓を継承して未来責任の担い手となることをねらいとしている。  講習方法：講義中心であるが映像・写真を多用し、わかりやすく解説する。  講習到達目標：講義①②③に対応して、①特別支援教育(当時は特殊教育)における長崎原爆の被害実態とその証言に学び、原爆・戦争の惨禍を理解すること、②近代(戦前)に長崎県の先人が築き上げた特別支援教育の人的・物的遺産の何を破壊・喪失したのか、その歴史的経緯を理解すること、③長崎原爆の破壊・犠牲の中から生起・創造された近藤益雄の知的障害教育実践の現代(戦後)的意義を遺産として理解すること、である。			
講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード 講習内容(概要)：長崎原爆(1945.8.9投下)が近代(戦前)に築き上げた長崎県特別支援教育の何を破壊し、人的・物的遺産の何を喪失したのか、その被害の実相(負の遺産)を学び、同時に原爆の破壊・犠牲から現代(戦後)の長崎県(さらには日本の)特別支援教育の原点を形成した近藤益雄の知的障害教育実践とその思想的到達点(正の遺産)について学びます。  講習計画・内容：			
	内容等	時 間	担当教員
	オリエンテーション	9:25~9:30	
	講義① 特別支援教育における長崎原爆の被害実態と証言 筆記試験20分 (途中休憩10分)	9:30~11:40	平田 勝政
	昼休憩	11:40~12:30	
	講義② 長崎県の近代における特別支援教育の発展と遺産 筆記試験20分 (途中休憩10分)	12:30~14:40	平田 勝政
	講義③ 長崎原爆と近藤益雄の知的障害教育実践の意義 筆記試験20分 (途中休憩10分)	14:50~17:00	平田 勝政
キーワード： (長崎原爆) (盲・ろう教育) (知的障害教育) (近藤益雄)			
成績評価の方法	成績評価は、講義①②③の到達目標に関する各試験の結果を総合して判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	詳細については、講習前にメールにてお知らせします。		
各自で準備するもの	YouTubeでの動画配信を行いますので、パソコン等の受信可能な機器をご準備ください。		
受講上の注意	1.「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2.視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。		